



代表取締役社長
渡辺 晴美 氏
わたなべ はるみ

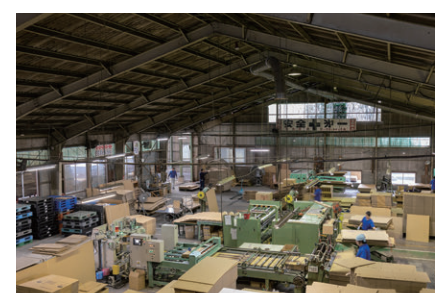
社長が語る
「ものづくりへの想い」

災害時には段ボールベッドや間仕切りの供給など、日田市と協定を結んだことも大きなニュースに。従業員に対してはもちろん、市民の皆さんに誇れる企業でありたいと思っています。



半導体などの精密部品においても振動やホコリを防ぐ梱包材は必要不可欠。より効率よくパッキングできるプラスチック段ボールは、工場間の移送において何度も繰り返し使えることが大きなメリットに。

CADからダイレクトにデータを送り、部品にあわせた梱包材のカタチを切り出すサンプルカッター。パーツごとに製造される大量の完成品に至るまで、試作の作業は慎重かつ精密さを要求される工程になる。



monozukuri
8 ダンボール・プラスチックダンボール加工製造

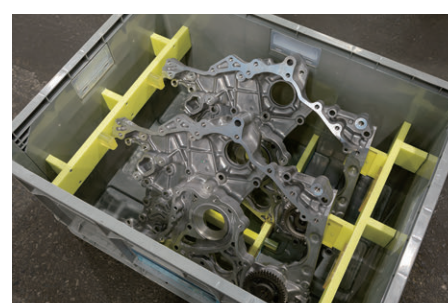
三隈工業株式会社

〒877-0061
大分県日田市石井町2丁目
TEL 0973-23-6191

”包む“を新しいカタチに
未来へ進化する三隈ブランド

はもちろん、いかに効率よく大量に移送できるかも設計の重要なポイントに。さらに繰り返し使えるプラスチック段ボールも、梱包材とあわせて製造。国内だけでなく、世界にも輸送される通函箱として、ますます需要が高まっています。

使いやすく組み立てやすいことをポリシーとする同社。「誰かを思い、手を差し伸べるときに“人柄”が表れるように、商品を手に取ったときの使いやすさは、三隈ブランドが誇る“品柄”。それこそが私たちの目指すものづくりです」と渡辺社長。また自然環境に負担をかけない循環型社会を目指し、地域の発展に貢献するパッケージケースの未来を包んでいます。



自動車などの部品にあわせ、オーダーメイドで設計されたプラスチック段ボールは、軽量かつ強度のある通函箱として定着している。

パッキングケースのパイオニア
物流梱包を支える成長企業に

半世紀を超える歴史を持ち、日田市における地場トップ企業として確固たる実績を重ねた三隈工業株式会社。設立以来、チップ製造ならびに段ボール製函企業として大きな成長を果たし、現在は物流梱包を支える段ボールの製造を主に県内外からの高い評価を得ています。

振動のキズやホコリを防ぐ
精密部品の梱包材を製造

そしてもうひとつの大きな柱は、プラスチックダンボールに利用される梱包材の製造。次世代自動車が広く普及するに当たり、A-やオートパイロットなど精密部品の移送には、振動によるキズやホコリの侵入が大きなダメージに。繊細な部品をしっかりと守る梱包材は、自動車メーカーにとっても重要な

完成度と移送効率を高める
サンプルカッターの導入

そこで同社が導入したのは、梱包材の試作品を製作するサンプルカッター。CADによるオーダーメイドの設計が細かい部品の一つひとつに対応。厳しいチェックを繰り返しながら、より緻密な梱包材として完成度を上げること

資材として位置づけられています。



部品にあわせた梱包材をCADで設計。データをサンプルカッターに送り、試作品を製作。発砲スチロールなど柔らかい素材にも対応し、自在なカットも可能に。完成品は自社で製造し、プラスチック段ボールとあわせて組立て、取付けを行う。

導入のポイント
緻密に設計された
梱包材でしっかりガード

monozukuri-8 mikumakogyo

8

三隈工業 株式会社

お客様の声とニーズに応える
丁寧な梱包・配送に“品柄力”

物流の輸送に欠かせないパッキングケース。製造はもちろん、配送までお客様の声に応える『三隈ブランド』は使いやすく組み立てやすい自然環境にも配慮した“品柄”に表れている。

